

こころを動かし、未来をつくる あったかいひとの待つ場所…ふれあい塾

－ かつらぎ町 －

1 かつらぎ町「ふれあい塾」

【活動日】水曜日（週1回）

【活動場所】笠田東児童館 2階図書室・会議室

【1回の参加児童数】約7人

2 かつらぎ町教育委員会子どもの居場所づくり事業（ふれあい塾）の特徴・工夫点

【組織的な特徴として】

ふれあい塾指導員・行政（教育長、主管課職員、児童厚生員、家庭相談員）・学校（校長・教頭・それぞれの担任）の3者が定期的に会を持ち、子供たちへの支援のあり方について相談し合いながら進めている。

【学習の特徴として】

- ・自己肯定感を大切にしている。
- ・それぞれの子供の基礎学力の到達度を記す個人ファイルを作成している。
- ・家庭への連絡帳を持たせている。
- ・手作りの地図パズルや漢字カード、英語カード、計算カードを作成し、個々に合わせて活用している。

【工夫点として】

- ・1階を児童館活動、2階をふれあい塾とし、共に影響がないようにしている。

3 取組の具体的な内容

（1）放課後の学習支援

① 活動の内容

ふれあい塾では、笠田東児童館の2階図書室を活用し、独自のプリントを使って、放課後の学習を行っている。

② 児童生徒、保護者、関係者、地域の方々などの感想

【児童】

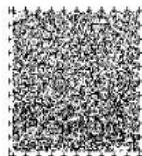
- ・楽しいです。
- ・算数を頑張りたいです。
- ・計算を速くできるようになりたいです。
- ・家で、お父さんと九九の練習をしました。

【保護者】

- ・ふれあい塾の前日は、準備をしてランドセルを玄関に置いています。
- ・とても楽しいようで、色々話を聞かせてくれます。楽しい様子が表情でわかります。



手作りの地図パズル



【関係者】

- ・集中して勉強ができるようになり、字も丁寧に書けるようになってきました。
- ・子供たちと接する中で、指導員も子供たちからパワーをもらっています。
- ・子供たちの「できた！」という表情を見られることが、嬉しいです。

【地域の方々】

- ・以前学校では椅子に座れてなかった子供たちが、きちんと座れているので驚きました。
- ・指導員が皆さん笑顔で子供たちに接しておられ、そのようなあったかい雰囲気だからこそ、子供たちも楽しそうに通っているのだなと思います。
- ・子供たちに勉強等を教える理想の形だなあと思いました。

(2) 簡単な英会話

① 活動の内容

数字や月日、日常の簡単なあいさつ等の英会話を教えてもらい、「僕、(私) 知ってる！」と言えたり、思えたりするように行っている。

② 児童生徒、保護者、関係者、地域の方々などの感想

- ・楽しいです。(児童)
- ・教えてもらった日の翌日は、教室の前に立って、ずっと「Open the door」と言っていました。(学校の担任)



英会話の様子

4 事業を実施して

たくさんの支えの中で子供たちは成長し、子供たちを取り巻く方々からは多くの声が寄せられている。これまでには、行き詰ったり、予想通りに行かなかったり、行き違いもあったが、そのたびに、みんなで考え、対策をとり、ここまでやってきた。

まだまだ課題はあるものの、子供たちの元気な笑顔、「できた！」という顔を見ると本当に良い事業だと思う。

これからも、ふれあい塾に関わってくださるみなさんと共に子供がほっとでき、自分ではできるんだという思いがもてるような居場所づくりをしていきたいと思う。

5 問い合わせ先

かつらぎ町教育委員会 青少年センター

Tel : 0736-22-6075

Fax : 0736-22-7102

Mail : seisyonen-syomu@town.katsuragi.lg.jp

